

モリコロパークカップ交流少年軟式野球大会

大会実施要項

1. 試合時間及び回数について

試合は、1時間20分を超えて次の回に入らないか、又は6回とする。それでも勝敗が決まらない場合は、タイブレーク方式1回行う。なお同点の場合は抽選とする。但し、準決勝・第三位決定戦はコールド無し。タイブレーク方式を2回まで行う。それでも勝敗が決まらない場合は、抽選とする。決勝戦は勝敗が決まるまでタイブレーク戦を行う。

※選手の交代はスピーディに、又サインも短く行うこと。

※タイブレーク方式は、継続打順とし、ノーアウト満塁で始める。

※試合開始は運営上で早くなる場合がありますので、本部への受付は済ませ、試合開始30分前にはメンバー表を準備してください。

2. コールドゲーム及び試合の成立について

(1) 4回7点差以上の差がついた場合は、コールドゲームが成立する。

(2) 4回終了後、悪天候で試合が続行不可能と審判員が判断した場合は、コールドゲームが成立する。但し、同点の場合は、抽選にて勝敗を決定する。

3. 審判員について

審判は、専門の審判員に依頼する。(2人制)

4. 試合の決定・中止・グラウンドの整備について(グラウンドの入場は8時30分からです。)

(1) 試合の決定・中止については、モリコロカップ交流少年軟式野球大会実行委員会が決定する。

(2) 当日の試合の決定及び中止については、原則として7時30分までに決定する。

(3) グラウンド整備は勝チームとする。

5. 監督・コーチの服装及び選手について

(1) ベンチに入る監督・コーチは、ユニフォームを着用すること。

(2) 選手は、両耳ガード付のヘルメットを、打者・走者及びコーチの時には必ず着用すること。

(3) 捕手は、プロテクター・ヘルメット・ファールカップなどの安全具を必ず着用すること。

(4) ベンチ入りできる選手は20名まで、監督1名・コーチ2名・代表者1名・スコアラ1名・マネージャー1名とする。原則として、それ以上のベンチ入りは認めない。

6. 投球について

投手の変化球は認めない。投球はボールとする。

ホームベースは、一般用を使用する。

投球数カウンターは、両チームから1名をお願いします。

7. 投手の投球制限は、次のとおりとする。

(1) 70球以内(4年生以下60球以内)

(2) 試合中規程投球数に達した場合は、その打者が打撃を完了するまで投球できる。

(3) ボークにかかわらず投球したものは、投球数に数える。

(4) タイブレーク方式になった場合は、1日規程投球数以内で投球できる。

(5) 牽制球や送球とみなされるものは、投球数としない。

(6) 投球数の管理は、大会本部が行う。

8. ベンチについて

ベンチは、抽選番号の先番が1塁側、後番が3塁側とする。

9. ファールボールについて

(1) 1塁側に止まったものは、1塁側のチームが拾う。

(2) 3塁側に止まったものは、3塁側のチームが拾う。

(3) 捕手の後方に止まったものは、攻撃側のチームが拾う。

10. 大会使用球はマルエスJ号とし、各チームは運営面に協力する。

大会使用球は各チーム2個抛出すること。

11. 試合終了後、勝利チーム選手はグラウンド整備を行うこと。

12. 抗議について

抗議は、ルールに関しての確認は認めるが、ジャッジに関しては一切認めない。

13. その他

(1) 子供たちの技術練磨も大切であるが、少年野球本来の目的を持って試合中の罵声及び悪口は慎み、相手の好プレーに拍手が出来るように指導すること。

(2) 救急医療措置は、各チームにおいて行い主催者及び運営委員会は事故による責任を一切負わない。

(3) 各チームは、スポーツ安全協会の保険に加入すること。

(4) 一般ルールについては、監督会議において決定する。

(5) 公認野球規則並びに、全日本軟式野球連盟特別規則を適用する。

(6) 混成チーム、少子化を考慮して2チームでの混成を認める。

平成21年6月14日 一部追加

平成22年6月 6日 一部追加

平成24年5月13日 一部追加・削除

平成28年5月14日 一部変更

平成29年4月22日 一部追加

平成29年6月18日 一部変更

平成30年1月21日 一部追加

平成31年4月20日 一部変更

令和 4年5月15日 一部変更

令和 5年9月21日 一部変更

※雨天確認先 愛・地球博記念公園のホームページで確認してください。

※緊急連絡先

会 長 余 語 充 伸 090-7684-2345

副会長 丸 山 好 一 090-3563-9230